

# 自己点検・自己評価 報告書

## 平成28年度

評価対象期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日

学校法人 赤門学院

専門学校 赤門自動車整備大学校

# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (1)教育理念・目標

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
学校理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3
学校における職業教育の特色は何か	3
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2 ⇒ 3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

### [1.課題]

教育理念・教育目的・教育目標・教育方針等は学生便覧に掲げられているが、具体的な取り組みは各先生が個人的な判断で各学年を指導している。  
職業教育の得職で赤門独自と言えるものが今はない。  
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が、学生便覧・HPなどで何時でも閲覧できる。  
各学科で掲げる教育目標・育成人材像は定まったものはない。

### [2.今後の改善方策]

業界の懸案事項でもある人材不足を「留学生」で対処するというパターンがはまりかけていきそうであるが、よし悪しをしっかりと見極めなければいけない。受け入れるだけでなく就職先という出口が然り確保できるかが「キモ」となる。  
学校の大きな特徴となりうる、「電気自動車の研究」との連携強化を推し進める。

### [3.特記事項]

平成27年度と平成28年度の自己点検・自己評価を比較し、評価点の増減があった項目の欄は、「2 ⇒ 3」のような表示にした。(以下のページも同様に対応)

# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (2) 学校運営

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	2 ⇒ 3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2 ⇒ 3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する規程等は整備されているか	2 ⇒ 3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2 ⇒ 3

### [1.課題]

前年度同様、年度初めに示される運営方針、事業計画に関しては、認識に個人差が多々あり達成への意思統一が図れているとは言い難い。また、組織図と役割分担が明確に示されているので何をすべきかが明確にはなっているが、その決定プロセスには、個人の意見があまり反映されていないという意見が多い。

### [2.今後の改善方策]

運営方針、事業計画に関しては、より具体例を掲げ目標達成への意識を高めていく。また、学校運営に関する内外の情報を教職員が出来るだけ共有し、これらの決定が一方的にならないような風通しのよい組織を作る。

### [3.特記事項]

--

# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (3)教育活動

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3 ⇒ 4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3 ⇒ 4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	2
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2 ⇒ 3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	2 ⇒ 3

### [1.課題]

職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れる事が必要である。  
人材育成目標要件を備えた教員の確保が必要と考える。

### [2.今後の改善方策]

外部からの評価に関して自体、把握出来ていない事から、評価を透明化する体制作りから考える必要がある。  
教員の確保と、適正適格な業務内容を確認し、教員の育成を強化する必要がある。

### [3.特記事項]

--

# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (4) 学習成果

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
就職率の向上が図られているか	3
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2 ⇒ 3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

### [1.課題]

平成28年度の就職率は100%、国家試験の合格率は平成27年度と比較すると大きく向上しているが、1級自動車整備士の国家資格合格率は更なる向上を目指す必要がある。授業以外の学校行事が増加傾向となっており、国家試験の合格対策が遅れやすい。卒業後の学生が就職先で活躍しているか、確認体制が不十分である。

### [2.今後の改善方策]

国家試験の合格は自動車整備士として最低限必要な事であり、100%の合格を継続して達成できる環境作りが必要である。卒業生の活躍を確認するため、企業との連携を更に深め、問題点の調査や改善点の検討などを積極的に行っていく体制作りを行う。

### [3.特記事項]

平成28年度の2級自動車整備士科において、国家試験2種目(2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士)全員合格を達成することができた。

# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (5) 学生支援

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ほぼ適切・・・3
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2 ⇒ 3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	2 ⇒ 3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2 ⇒ 3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2

### [1.課題]

学生の就職に対する意識の低さが課題である。

### [2.今後の改善方策]

学科や実習の授業の中や通常の生活の中でも学校全体で就職に結び付けるような環境にする。企業説明会の実施や事前のアプローチを就職担当者行い意識付けをする。面接練習等を利用し学生との対話に心掛ける。

### [3.特記事項]

就職担当やクラス担任の他、教科担当の先生とも連携をし就職率100%の強化に努める。

# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (6)教育環境

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2 ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2 ⇒ 3
防災に対する体制は整備されているか	3

### [1.課題]

自動車メーカー、販売店、機器メーカー、大学等の協力により、新型車両やスキャンツール等も増え、新しい車両の整備や試乗も出来るようになってきたが、校舎や実習場によっては、施設や設備が古くなり、特殊工具や単体教材も数量は満たしているが、古いものが多くなり、現在の自動車に対応していない教材もある。

### [2.今後の改善方策]

現在の整備に合わせた車両の導入を推進し、特殊工具や教材等は破損での交換ではなく、定期的な入替を行い、より実践的な教育ができるように改善を行う必要がある。

### [3.特記事項]

防災に関しては、防災訓練にて避難場所を明確にしているが、防災用品や保存食の備蓄が必要である。また、インターンシップは1級科で確立されているが、その他の科については販売店により実施される場合もあり、今後は企業との交流を深められるように開拓する必要性もある。

# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (7) 学生の受入れ募集

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか	2 ⇒ 3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学納金は妥当なものとなっているか	2 ⇒ 3

### [1.課題]

中・高校訪問や学校見学会は以前より精力的に行っているがそれがうまく入学に結びついていない。学校との繋がりの強化はもちろんだが、高校生に直接会える校内ガイダンスと呼ばれるよう業者との関係性も高める必要もある。募集活動に制限があるため校内ガイダンスの案内を断ることは問題である。留学生の受入体制やAO入試などの更なる改善も必要である。

### [2.今後の改善方策]

授業料は他校とさほど差がない為、赤門の弱点であるハード面ではなくソフト面で他校との差別化を図る。高い国家試験の合格率や就職率を誇る行き届いた教育は赤門の魅力なので、それをガイダンスや学校見学会で強くアピールすることで入学者増加につなげていく。またHPやSNSを使った募集活動にも力を入れるべきで、若者のツールをうまく活用し学校見学会への参加に結びつけることが重要。学校見学会での対応も出願に繋がるか否かの重要ポイントの為慎重に行う必要がある。

### [3.特記事項]

外国語学校との繋がりは強化されてきたのでこれを維持し、更なる留学生確保に繋げる。



# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (8)財務

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2 不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2 ⇒ 3
財務について会計監査が適正に行われているか	3
財務情報公開の体制整備はできているか	3

### [1.課題]

近年の学生数減少に伴い財務面での不安を懸念する向きもある。実際、本業での不足分を本業以外で補っている現実もある。財務基盤安定のため学生数の確保が絶対的な課題であろう。

### [2.今後の改善方策]

中長期的視点に基づく予算により、今後の学生数の増加に直結する支出を優先的に行っていく。

### [3.特記事項]

HP上に公開されている財務情報を理解する為の最低限の知識は教職員個々にも必要であろう。

# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (9) 法令等の遵守

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2 不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2 ⇒ 3
自己評価結果を公開しているか	3

### [1.課題]

個人情報の保護の対策の中でパソコン及び、ネットに関してのセキュリティーに不安がある。

### [2.今後の改善方策]

ウイルス対策ソフトを完璧にし管理する。

### [3.特記事項]

# 平成28年度 自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

## (10) 社会貢献・地域貢献

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2 ⇒ 3	
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2	

### [1.課題]

中学生の職場体験受け入れ事業所として、業界への貢献をしている。  
テストコースを一般開放しレースや試乗などに利用している。  
ボランティア活動は授業時間の関係で実施出来ていないのが現状である。  
公開講座については山形の企業からの依頼で実施した実績があるものの、定期的に行われているものではない。

### [2.今後の改善方策]

社会貢献、ボランティアとして、実施する余力が足りていないのが現状であるので、カリキュラムの見直し等をおこなって余裕時間をどう利用していくかの検討が必要。

### [3.特記事項]

以前の文化祭では 来場された外来者のお車の無料点検やオイル交換などをして整備の大切さなどのアドバイスをしていたことがあった、事故に至る整備不良などが見つかри、感謝されたことがある。